

伺通

明治十年四月廿三日



開拓使

明治十年八月十四日
官第百二十号

別列伺北海道諸產物出港稅則更正儀
本日第五十六号、通御布告相成候條此旨及
御通課候也

明治十年八月十日 太政官書記官

開拓書記官

御中

甲第拾貳号

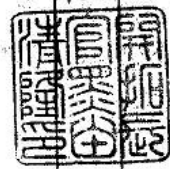
北海道諸產物出港税則更正ノ義同

明治八年十一月第十六拾三號御國內廻漕規則當分停止ノ旨御布告相成候ニ因リ北海道諸產物出港税則並各港船政所規則第八條ニ抵觸ヲ生シ諸廻船各港出入及ヒ出港税納否等實際取締相立並候義モ有之候間自今北海道各港出入ノ船舶ハ其時々該港船政所或ハ地方役所へ届出サセ從前船政所ノ外便宜ノ地ヲ撰ヒ季節ニ隨ヒ船政所出所ヲ設ケ且當使事務施行ノ都合ニ因リ官吏配置セサル場所ニ於テハ地方役所ニ於テ管理致候船舶出入ノ事務ヲ區戸長役場ニ於テ取扱ハセ人民ノ便益ヲ開キ度候條至急御允裁有之出港税則改正ノ上更ニ一般御布告相成候様致度別紙更正規則关ニ

御布告案相副此段相同候也

明治十年五月十六日

開拓長官黒田清隆



右大臣岩倉具視殿

（Faint, mostly illegible text in the main body of the document, likely a copy of a decree or official notice.)

御布告案

第 号

明治八年貳第十四号布告北海道諸產物出港税則並各
港船政所規則別冊、通改正本年八月一日ヨリ施行候
條此旨布告候事

明治十年 月 日

右大臣 岩倉具視

關稅

北海道諸產物出港稅則及各港船政所規則

第一條

北海道諸產物

鑛屬數類酒類麻卵
紙生糸器具ヲ除ク

各府縣へ輸送ノ節ハ

官私用

陸海軍用
品ヲ除ク

別ナク出港稅トシテ其原價百分ノ

四ヲ貨主ヨリ下條ニ掲載スル一ノ船政所ニ納ムヘシ

但出港稅ハ該產物ヲ積載スル船長ニ於テ取鑿ノ

船ヲ以輸送
ノ節ハ貨主納受ク手續ヲ為スヘシ

第二條

船政所有之各港

渡島國龜田郡函館港

全 國津輕郡福山港

全 國檜山郡江差港

膽振國室蘭郡室蘭港

後志國小樽郡小樽港

全 國壽都郡壽都港

釧路國厚岸郡厚岸港

左ノ拾ヶ所ニ於テ毎年五月ヨリ十月マテノ間船改派
出所ヲ置キ船改所同様ノ事務ヲ取扱フヘシ

渡島國福島郡吉岡

全 國上磯郡當別

全 國津輕郡江良町

全 國志那郡熊石

後志國古平郡古平

全 國岩内郡岩内

石狩國石狩郡石狩

日高國浦河郡浦河

根室國根室郡根室

千島國振別郡振別

第三條

諸産物ノ原價ハ右各港ニ於テ毎月上中下旬三度賣買
相場ヲ蒐集シ之ヲ査定スヘシ

但相場詳ナラサル物品ハ賣買仕切狀ヲ檢査シテ之
ヲ定ムヘシ

第四條

諸船舶各府縣下ヨリ北海道ニ入船スルハ船免狀或
ハ船税鑑札ヲ添ヘ第一号書式ノ通其港津船改所或ハ
地方役所

但北海道産物ニ類似ノ物品ヲ青森秋田両縣下等ヨ

リ廻漕スル分ハ其品名數量ヲ詳記シタル仕出場ノ
送状或ハ賣買仕切状ヲ添届出ヘシ

第五條

北海道各港津ヲ回漕スル諸船舶ハ出帆ノ節甲港船改
所或ハ地方役所ヘ申出改所役所ニ於テハ第二号書式
ニ法リタル檢印帳ヲ付與シテ回漕セシムヘシ其船乙
港ヘ入津セハ乙ノ船改所或ハ役所ヘ速ニ檢印帳ヲ納
メ置キ出帆ノ節乙港ノ檢印ヲ乞フテ携帶スヘシ
出入モ前
之ニ準ス
但回漕數月ニ渉ル船モ該年中ハ一ノ檢印帳ヲ用ヒ
シテ翌年ハ更ニ之ヲ付與スヘシ

第六條

諸船舶北海道内各府縣ヘ向ケ回漕ノ節ハ第二條

ニ掲クル各港ノ内何レカ一港ヘ入船シテ其船改所ヘ
檢印帳ヲ還納第三号甲ノ書式ニ法リタル出港税納
目録或通差出產物積載セサル節ハ第四号甲ノ書
式ヲ出帆届或通差出スヘシ改所ニ於テハ審査ノ上
產物積載セサルハ定期ノ税金ヲ領收シ第三号乙ノ書
式ニ法リ產物積載セサルハ第四号乙ノ書式ニ法リ與
書シテ一通ハ留置キ一通ヲ下付シテ出帆差許スヘシ
但許可ヲ得タル後都合ニ依リ三日以内ニ出帆セサ
ル船ハ更ニ第四條ノ手續ヲナスヘシ

第七條

船改所ナキ地方ヨリ產物積取直ニ各府縣ニ輸送セン
ト欲スルモノハ其積受ノ地ヘ航行ノ節第二條ニ掲ク
ル各港ノ内何レカ一港ヘ入津シ豫メ其積取ルヘキ產

物ノ高ヲ計算シ第三号甲ノ書式ニ法リタル出港税前
納目錄ニ通テ差出シ船改所ニ於テハ前納目錄ノ高ニ
從ヒ定則ノ税金ヲ領收シ同号乙ノ書式ニ法リ與書シ
テ一通ハ留置一通ヲ下付シテ直艫差許スヘシ

但本條許可ヲ得テ其地ニ到リ產物積取ノ節ハ其地
方役所ニ申立検査ヲ受クヘシ役所ニ於テハ出港税
前納濟ノ目錄ニ照較シテ之ヲ検査シ若シ產物不足
ノ節ハ其由ヲ詳記セル書面ヲ右目錄ニ添ヘテ船長
ハ下付シ船長之ヲ翌年七月迄ニ裏キニ納税ノ船改
所ニ差出スニ於テハ過納ノ金額下戻スヘシ

第八章 出港税

出港税納濟ノ諸產物都合ニ依リ第三條ニ掲タル各港
ノ内ハ揚陸タル并ハ該港船改所ハ願出ヘト改所ニ於

テハ現品審査ノ上税納濟ノ目錄ヲ引上テ税金下戻ス

但出港税ヲ收納タル港内ニ於テ難破ノ災ニ罹リ
税納濟ノ產物流没シタル分ハ實際検査ノ上税金下
戻スヘシ

第九章 船舶出入

各港船改所及役所ハ休日ヲ除クノ外毎日午前九時ヨ
リ午後四時迄船舶出入ノ事務取扱クヘシ尤諸貨物船
積船卸ハ日出ヨリ日没マテヲ限リトス

但臨時出入港ノ手數ヲ請ヒ或ハ時限外ニ貨物ヲ積
卸セシト欲スル者ハ其事由ヲ具シ船改所或ハ役所
ハ願出ヘシ

第十章 附則

諸船舶出港税未納或ハ税納目録外ノ産物ヲ竊ニ積載
各府縣ハ輸送セント謀リ又ハ府縣下ニ於テ船舶卸スル
モノハ科料トシテ船長ヨリ其物品原價其發露スル地
方賣買ノ價格ヲ以テコ拾分ヲ貳及出港税ヲ徴收スヘシ

第十一條

各港船政所及役所ニ於テハ入出港届書等ニ據リ第五
号書式ニ法リ船舶出入月表ヲ製シテ毎月開拓使函館
支廳ハ差出シ同廳ニ於テハ之ヲ蒐集シテ毎船ノ出入
ヲ審查シ若シ此規則ニ循ハサルモノアリテ其踪跡詳
ナラサルトキハ同廳ヨリ直ニ其船主ヲ本管廳ニ通報
シ本管廳ニ於テ出港税支料料分徴收シ其事由ヲ詳
記シクル書面ヲ添ヘ函館支廳ニ送付スヘシ
但北海道回漕中暴風等ノ難ニ罹リ止ヲ得ズシテ直

ニ府縣下ヘ入船スルモノハ本條ノ限ニアラサル故
其事由ヲ具シ檢印帳ヲ添ヘ速ニ其地ノ戸長ヘ届出
ヘシ戸長審査ノ上疑ナキニ於テハ其現存スル物品
ノ出港税原價ハ其入船シタル地方賣買ノ
價格ヨリ其運賃ヲ除キ之ヲ定ムヲ徴收シ
テ管轄廳ニ納メ其廳ヨリ本文同様送付スヘシ

第十二條

出入港ノ届及檢印帳ノ納受ヲ等閑ニスルモノ或ハ許
可ヲ得スシテ時限外ニ荷物ヲ積卸スルモノハ左ノ算
則ニ從ヒ船長ヨリ科料ヲ徴收スヘシ

日本形船 五拾石マテ 金拾五 弍

五拾石以上拾石マテ 壹弍 弍ヲ加フ

外國形汽船 三拾噸マテ 金五 拾 弍

三拾噸以上拾噸マテ 拾七 弍ヲ加フ

同 凡帆船三拾噸以上 金三拾元

三拾噸以上拾噸以下 金拾元又加

第十三條

前各條ノ規則ヲ犯スモノニ犯共ニ發スルハ重キニ就テ
露分シ既犯ノモノ後日發露スルトキハ追徴スヘシ

第壹号

入港御届

船形
一船名

積石

船主

乗組

船長
何人

積荷

仕出場所及仕出場所月日

入港日